

《労働関係について》

◎ 内職相談事業

商工観光課

事業目的	相談日	場所	相談件数				
家庭外で働くことが困難で内職を希望する人の相談に乗り、求人企業に斡旋することでマッチングを図る。	平日	内職相談室	48件				
	相談内容	求職相談	37件	求人内容			
		求人相談数	7件		求人件数	4件	求職者に対する斡旋件数の割合
		苦情相談数	2件		求人数	33件	
		その他	2件		求職者	33件	
		斡旋件数	23件	69.7%			
事業成果	内職を希望する人の相談に乗ることで、斡旋をすることができた。						

◎ 勤労福祉会館利用状況

商工観光課

利用目的	勤労者の文化教養活動の推進と市民福祉の推進を図る。		
開館日数	308日	利用者数	5,097人
利用回数	803回	使用料	346,760円
公共施設予約システム登録団体	84団体（マイ体操、幸手フラメンコ、花のシンフォニー、婦人会フォークダンス、楽水支部、四季彩クラブ、元気アップ体操、チューニ・ハーモニカクラブ、中国語クラブほか）		
事業成果	コロナ禍における規制が緩和されたことにより、徐々に活動が再開され、勤労者及び市民活動を推進することができた。		

《農林水産業関係について》

◎ 農業委員会運営事業

農業委員会事務局

(1) 会議の開催状況

目 的	円滑な農地行政の執行を図るために、会議を開催する。												
月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回 数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回	1回	1回	1回	1回	1回	13回

(2) 農地の移動状況

区 分	件 数	面 積
農地法第3条の規定による所有権移転及び賃借権等の設定	20件	758 a
農地法第4条の規定による転用（市街化区域内の届出を含む）	20件	84 a
農地法第5条の規定による転用を伴う所有権移転及び賃借権等の設定（市街化区域内の届出を含む）	54件	418 a
農地法第18条に規定する農地の合意解約	33件	1,125 a
合 計	127件	2,385 a

◎ 農業振興会議

農業振興課

名 称	回数	会 場	目 的
農業振興協議会	2回	市 役 所 第2会議室	幸手農業振興地域整備計画の変更について

◎ 農業振興地域整備計画基礎調査事業

農業振興課

事業目的	農業振興地域整備計画に現況の土地利用状況や社会情勢の変化を反映させるため、農家の意向や農地一筆ごとの調査を行う。
事業概要	農家へのアンケート調査や農地の利用状況等の資料収集・分析を行い、農業振興地域整備計画の見直しに必要な基礎データを整備する。
事業費	8,250,000円
事業成果	農業振興地域整備計画の策定に向けて、基礎的な調査と推計調査を行うことにより基礎データを整備し、基礎資料としてまとめることができた。

◎ 西農村文化センター管理運営事業

農業振興課

事業目的	利用件数 利用者数	事業成果
農業経営の安定と住民の生活文化の向上を図る。	951件 9,630人	地域農業者等住民が、各種研修やコミュニティ活動等を通じて、ふれあいの場としての活用が図れた。

◎ 農業後継者対策協議会補助金（一般補助）

農業振興課

交付団体	幸手市農業後継者対策協議会
補助金額	100,000円
補助目的	後継者不足の対策として、農業への理解を図るための啓発活動及び担い手の育成等を実施する団体として補助金を交付する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校に体験農業として肥料を配付 ・田植え、稲刈り体験 （権現堂川小、吉田小、八代小、行幸小、さくら小） ・農業後継者部会の開催

◎ 単独水田農業構造改革対策補助金（指定補助）

農業振興課

補助金名	事業概要	交付対象 補助金額	事業成果
地域水田農業推進事業	水田を有効活用し、農業経営の安定及び地域が一体となって生産力の確保を図るため、積極的に推進活動を行う団体に対し補助金を交付する。	幸手市地域農業再生協議会 114,184円	生産に係る需給の見通しや作付状況の情報提供等が行われ、農業者が主体的に生産・販売が行えるような取組の推進が図れた。
戦略的作物推進事業	需要のある作物や付加価値の高い作物を生産した農家に対し助成金を交付する。（加工米、飼料米、米粉用米は1袋当たり500円以内、麦、大豆、飼料作物及び特別栽培米は10a当たり1,000円以内）	実施生産者 96人 1,499,538円	戦略的作物推進事業を推進することにより、需要のある作物や付加価値の高い作物の生産への転換及び農業経営の向上と安定化が図れた。

◎ 経営所得安定対策推進事業費補助金（指定補助）

農業振興課

事業概要	経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の実施に必要なとなる推進活動等のうち、地域において実施する現場における推進活動や要件確認等に要する経費、経営所得安定対策等の申請手続きの電子化、共通申請サービスへの統一を推進するために必要な経費に対し補助金を交付する。
交付団体	幸手市地域農業再生協議会
補助金額	2,367,150円
事業成果	地域において実施する現場における推進活動や要件確認等が円滑に行われるとともに、経営所得安定対策等の申請手続きの電子化への移行が進められ、事業推進に必要な環境整備が図られた。

◎ 幸手産米供給設備整備補助金（指定補助）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

農業振興課

事業概要	交付団体 補助金額	事業成果
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下落した米価対策及び幸手市ハッピー・スマイ(米)ル推進事業の円滑な実施を図るため、精米機などの幸手産米の供給設備の設置に要する経費に対し、補助金を交付する。	埼玉みずほ 農業協同組合 7,499,800円	幸手産米を集荷、販売する埼玉みずほ農業協同組合が精米機や付帯設備を整備することで、幸手産米の円滑な供給体制を確立することができた。

◎ 農業経営者支援事業（指定補助）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

農業振興課

補助金名	事業概要	交付件数 補助金額	事業成果
幸手市水稻肥料高騰対策補助金	肥料価格の上昇により影響を受けた農業者を支援するため、肥料価格上昇相当分の一部について、補助金を交付する。	1,066件 37,198,000円	肥料価格上昇の影響を受けた多くの農業者に対し、肥料価格上昇相当分の一部を補助することで、経営を支援することができた。
幸手市施設園芸経営支援補助金	燃油価格の高騰により影響を受けた施設園芸農業者を支援するため、購入量に応じ燃油価格上昇相当分の一部について、補助金を交付する。	9件 611,400円	燃油価格の高騰の影響を受けた施設園芸農業者に対し、購入した燃油の価格上昇相当分の一部を補助することで、経営を支援することができた。

◎ 担い手確保・経営強化支援事業補助金（指定補助）

農業振興課

事業概要	本市の農業を牽引する優れた経営感覚を備えた担い手を育成・支援するため、経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入について補助金を交付する。
交付件数	1件
補助金額	4,367,137円
事業成果	地域の担い手に対し、経営発展に必要な農業機械を導入するための支援を行うことで、経営発展に必要な設備が整備されるとともに意欲向上が図れた。

◎ 農業近代化資金利子補給事業

農業振興課

事業概要	区分	件数	期末融資残高	利子補給額	事業成果
農業近代化資金融通法に基づく、基準金利のうち0.5%の利子補給を行う。	上半期	1件	6,030,000円	3,221円	農業者の装備の高度化、近代化及び農業経営の安定化が図れた。
	下半期	1件	6,030,000円	15,198円	
	合計	—	—	18,419円	

◎ かんがい排水事業

農業振興課（道路河川課）

事業目的	農業用排水施設の整備を行い、農業用水の確保、水利用の安定化と合理化及び農業上の土地利用の高度化を図る。		
事業概要	事業名	施工箇所	事業費
	水路補修・修繕工事	大字千塚地内ほか29か所	23,362,020円
	水路浚渫工事	大字幸手地内ほか8か所	11,559,900円
	防護柵設置工事	大字上高野地内ほか4か所	2,684,000円
	揚水ポンプ更新工事	中5丁目地内	968,000円
事業成果	水路改修や浚渫等を行うことで、用排水路の法面崩壊を防止し、良好な水路断面を確保することにより、農業の安定化を図ることができた。また、転落防護柵の設置により周辺住民に対する安全面の確保が図れた。		

◎ 県営土地改良事業負担金

農業振興課

事業目的	近年の都市化の進展、地盤沈下、農業水利施設の老朽化等による施設機能の低下を防止し、施設の適正管理や地域農業の安定、水資源の有効利用を図るため、埼玉県が実施する事業に対し負担金を支出する。		
事業概要	事業名	内容	負担金額
	基幹水利施設管理事業「利根中央地区」	揚水機場補修工事	1,295,581円
	権現堂用水路改修事業「農地防災事業（地盤沈下）」	用水路改修工事	2,329,499円
	島中領地区特定農業用管水路特別対策事業「農地防災事業（特定農業用管水路等特別対策事業）」	管水路工事	111,527円
	基幹水利施設ストックマネジメント事業「かんがい排水事業（長寿命化対策）」	揚水機場補修工事	6,262,684円
	合計		9,999,291円
事業成果	農業水利施設の改修等が実施され施設機能の改善が進み、農業用水の安定供給や地域農業の安定化が図れた。		

◎ 土地改良排水事業分担金

農業振興課

事業目的	近年の市街化の進展等社会的条件の変化や、気候変動の影響による大雨の増加等による排水路への流入量増加により、非農用地を含めた地域全体の排水を土地改良区が担うこととなり、改良区の公共的役割が増大している中で、土地改良区のみで排水の全てに対応していくことは、厳しい状況となっていることから、その費用について分担金を支出する。		
事業概要	土地改良区名	受益面積	分担金額
	神扇土地改良区	68.9ha	1,250,000円
	神扇落悪水路土地改良区	670.8ha	1,250,000円
	中島用悪水路土地改良区	328.4ha	1,250,000円
	合計	1068.1ha	3,750,000円
事業成果	土地改良区が担う公共性の高い排水事業について分担金を支出することで、土地改良区の負担を軽減することができ、他用途かつ公共性の高い排水事業の一部を担うことができた。		

◎ かんがい排水事業補助金（指定補助）

農業振興課

事業目的	農業用排水施設の整備を行い、農業用水の確保、水利用の安定化と合理化及び農業上の土地利用の高度化を図るために、土地改良区等が実施する事業に対し補助金を交付する。			
事業概要	団体名	内容	事業費	補助金額
	中島用悪水路土地改良区	中島排水機場真空ポンプ更新工事	2,585,000円	258,500円
	中島用悪水路土地改良区	中島用水路本線浚渫工事	5,995,000円	1,139,050円
	合 計			1,397,550円
事業成果	実施団体において、自主的な農業水利施設の維持管理が実施され、良好な営農環境の維持が図れた。			

◎ 小規模土地改良事業補助金（指定補助）

農業振興課

事業目的	農業施設の維持管理を図るために、道水路の浚渫・雑草刈・障害物の除去を行う組合に対し、その事業に係る経費について補助金を交付する。		
事業概要	組合名	事業費	補助金額
	中野道水路維持管理組合	66,406円	19,921円
	幸手南部農業施設管理組合	310,885円	88,291円
	権現堂道水路維持管理組合	126,740円	31,685円
	神平前道水路維持管理組合	326,788円	98,036円
	神明内第一道水路維持管理組合	410,552円	123,165円
	高須賀道水路維持管理組合	207,876円	60,076円
	合 計		
事業成果	各組合において自主的な農業施設の浚渫や草刈が実施され、良好な維持管理が図れた。		

◎ 土地改良特認事業補助金（指定補助）

農業振興課

事業目的	土地改良区等の用水確保に要する事業に対して補助金を交付する。			
事業概要	団体名	内容	事業費	補助金額
	中5丁目地内揚水施設 維持管理組合	用水確保	47,346円	15,000円
事業成果	かんがい時期の円滑な用水確保と農業者の負担の軽減が図れた。			

◎ 多面的機能支援事業補助金（指定補助）

農業振興課

事業目的	農業・農村の有する多面的機能の発揮を促進するため、地域の活動組織が行う農地や水路、農道などの地域資源の基礎的な保全活動や質的向上を図る活動、施設の長寿命化を図る活動に対し、対象農用地の面積に応じて補助金を交付する。			
事業概要	団体名	事業区分	対象農用地	補助金額
	上宇和田保全組合	機能保持事業	田1,708 a 畑 407 a	593,800円
	上宇和田保全組合	機能増進事業	田1,708 a 畑 407 a	556,304円
	上宇和田保全組合	農業生産活動 推進事業	田1,708 a 畑 407 a	409,962円
	中川崎保全組合	機能保持事業	田1,459 a 畑1,117 a	661,100円
	信木排水路流域保全組合	機能保持事業	田1,281 a 畑 117 a	407,700円
	長間排水路管理組合	機能保持事業	田4,883 a 畑 566 a	1,578,100円
	木立保全組合	機能保持事業	田3,240 a 畑1,140 a	1,211,400円
	上千塚環境保全管理組合	機能保持事業	田 858 a 畑 322 a	321,800円
	上吉羽排水路管理組合	機能保持事業	田3,014 a 畑 273 a	958,800円
	中瀬排水路管理組合	機能保持事業	田1,069 a 畑 385 a	397,700円
	合 計			7,096,666円
事業成果	地域の活動組織により保全活動や質的向上を図る活動が実施され、農業・農村の有する多面的機能の発揮の促進が図れた。			

《商工関係について》

◎ 商工会補助金（指定補助）

商工観光課

交付団体	幸手市商工会
補助金額	18,000,000円
補助目的	商工業振興の事業推進を図るため、補助金を交付する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善普及事業（経営に関する指導、講習会の実施、情報収集・提供） ・一般事業（商工業者福利厚生事業、地域活性化・商工業振興事業等）
事業成果	商工業の総合的な振興に寄与することができた。

◎ 商業団体活性化推進事業費補助金（指定補助）

商工観光課

補助目的	各商業団体の事業を推進し、商店街の更なる活性化及び振興を図る。		
事業概要	交付団体	補助金額	事業概要
	助町商店会 (34店加盟)	191,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・共同売り出し（夏祭り・市民まつり） ・共同装飾（夏・クリスマス）
	栄商店会 (15店加盟)	481,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・共同売出し ・サービス券の発行 ・ポイントカードの運営 ・宅配サービス事業
	天神町商店会 (38店加盟)	81,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・催物（ナイトバザール）
	幸手市 商業協同組合 (75店加盟)	1,780,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・催物運営及び広告宣伝 ・市内共通商品券発行及び運用 ・ポイントカードの発行及び運用 ・中心商店街にぎわい創造事業
	合計	2,533,000円	
事業成果	コロナ禍ではあったが、規制緩和により、徐々に事業が再開され、商店街の活性化及び振興が図られた。		

◎ 中心市街地にぎわい創造事業費補助金（指定補助）

商工観光課

交付団体	幸手市商工会
補助金額	1,700,000円
補助目的	幸手市中心市街地にぎわい創造方針に基づいて推進協議会において商工会が事業主体となることを決定した事業に対し補助する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等支援事業（イベント等支援・販路活性化・個店指導等） ・特産品開発普及促進事業（新商品開発・販路拡大） ・観光連携事業（観光客のおもてなし・特産品の活用・観光振興委員会） ・空き店舗・既存ストックの活用事業（しあわせのえきプラス運営等） ・NEXT商店街検討事業（協議会運営・コミュニティ創造）
事業成果	中心市街地の活性化や商工業の総合的な振興に寄与することができた。

◎ 商店街街路灯電気料補助金（指定補助）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

商工観光課

補助目的	交付団体	補助金額	対象数	事業成果
<p>各商店街の街路灯を維持管理している商店街団体に対し、電気料金の一部（50%）を助成し商店街の活性化を図る。 ※当事業は従来30%の補助率で実施されているが、電気料金高騰のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して50%の補助率とした。</p>	上高野環境整備組合	86,184円	27基	<p>各商店街の商業振興の一環として、街路灯の適切な維持管理により、商店街の安全な環境を整備できた。</p>
	助町環境整備組合	195,210円	60基	
	駅前通り環境整備組合	71,577円	22基	
	天神町環境整備組合	120,379円	37基	
	中央環境整備組合	136,647円	42基	
	仲町商店会環境整備組合	91,098円	28基	
	東町街路灯維持管理組合	41,959円	14基	
	大杉町地区環境整備組合	39,054円	12基	
	荒宿環境整備組合	156,168円	48基	
	田宮環境整備組合	42,295円	13基	
	北町環境整備組合	100,858円	31基	
	中5・南3地区環境整備組合	31,037円	10基	
	行幸・長倉地区環境整備組合	78,084円	24基	
	東地区街路灯組合	108,685円	34基	
	緑台環境整備組合	29,068円	9基	
	八代地区環境整備組合	13,014円	4基	
	吉田地区環境整備組合	26,028円	8基	
	東さくら通り環境整備組合	58,261円	41基	
合計		1,425,606円	464基	

◎ 幸手中央地区産業団地企業誘致奨励金

商工観光課

交付団体	幸手中央地区産業団地に事業所を新設した企業
奨励金額	600,000円
補助目的	企業誘致の推進を図り、市の産業の振興及び雇用機会の拡大に寄与するため、奨励金を交付する。
事業概要	水道加入分担金相当額奨励金（1社） 600,000円
事業成果	市の産業振興及び雇用機会の拡大に寄与することができた。

◎ ハッピーエール応援券発行事業（指定補助）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

商工観光課

事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けている市民や市内商工業者を応援するため、市民の生活と地域経済を支援する。
事業概要	内 容：市民一人あたり2,000円（500円×4枚）の「幸手市ハッピーエール券」の配付 対象者数：49,544人（令和4年8月1日時点住民の基本台帳登録者） 利用期間：令和4年9月1日から令和4年12月31日まで 利用可能店舗数：288店舗 利用実績：90,795,000円（500円券×181,590枚） 換金率：91.2%
事業費	105,241,779円（事務費補助金14,446,779円を含む）
事業成果	ハッピーエール券の配付・利用により、市民生活の支援や地域経済の活性化を図ることができた。

◎ 小規模事業者等応援金給付事業（指定補助）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

商工観光課

事業目的	電力・ガス・食品等の物価高騰により、事業活動の影響を受けている市内小規模事業者等に対し応援金を交付し、市内事業者を支援する。
事業概要	内 容：1事業者につき30,000円の補助 対象事業者：店舗や事業所・工場などを市内に有し、事業を継続する意思がある事業者 ※大手企業・直営チェーン店は除く。 実績額：31,710,000円（1,057事業所）
事業費	35,074,613円（事務費補助金3,364,613円含む）
事業成果	電力・ガス・食品等の物価高騰により、事業活動の影響を受けている市内事業者に対し、応援金を交付することで、事業継続や雇用の維持が図れた。

◎ 桜堤景観形成事業

商工観光課

事業目的	事業内容	事業成果
桜堤周辺の景観形成を図る。	菜種の作付け 地元農家 16,107㎡ 県有地 24,000㎡ 合計 40,107㎡	地元農家及び県の協力により観光向け菜種の作付けを行い、観光地としての景観を形成することができた。

◎ 回遊型観光推進事業

商工観光課

事業目的	まちあるきマップ（観光マップ）を活用し、観光ガイドによる宿場あるきの開催やレンタサイクル事業を行い、回遊型観光の推進を図る。
期日・会場 参加者数	・幸手宿観光ガイドの会主催によるまちあるきイベントへの協力 ・六宿連携スタンプラリー（9月26日～12月26日）
事業成果	多くの観光客をまちなかへ呼び込むことができ、回遊型観光を推進することができた。

◎ 市民まつり事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

商工観光課

事業目的	市民によるまちづくりの推進と市内産業の振興及び地域コミュニティの進展を図るため市民まつりを開催する。
主催	幸手市民まつりの会
委託料	4,600,000円 (うち交付金充当額 1,000,000円)
期日・会場	令和4年10月30日 県営権現堂公園2号公園
参加者数	20,000人
事業成果	会場を変更し、3年ぶりの開催となったが、多くの市民の方に参加していただき、地域コミュニティの進展が図れた。

◎ 市営釣場事業

商工観光課

事業概要	管理運営を指定管理者に委託し、市民等にレクリエーションの場を提供するとともに、さまざまなイベントを開催しながら公共の福祉の増進を図る。						
利用者数及び利用料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	2,250人 2,599,700円	2,674人 3,194,500円	2,262人 2,527,500円	1,969人 2,315,800円	2,069人 2,278,900円	2,115人 2,268,600円	
※利用料は釣場利用者の使用料を記載。物販等の売上金は含まない。	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	2,721人 3,202,500円	2,713人 3,156,600円	2,092人 2,385,000円	1,845人 2,158,400円	1,487人 1,562,300円	1,985人 2,152,400円	
	利用者数合計		26,182人		利用料合計		29,802,200円
事業成果	へら鮒専用釣場として多くの利用があり、市民及び近隣住民のレクリエーションの場として活用されている。コロナ禍における規制が緩和され、感染防止対策を徹底するなどしながら、自主事業を実施することができた。						

◎ 観光協会補助金（一般補助）

商工観光課

交付団体	幸手市観光協会
補助金額	9,700,000円
補助目的	本市の観光事業の充実を図るため、補助金を交付する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・桜おもてなし事業、あじさいまつり・曼珠沙華まつり・水仙まつりへの支援 ・幸手市マスコットキャラクター「さっちゃん」グッズの作成・販売 ・幸手にぎわいの街推進事業として冊子「たべある記」の作成 ・ホームページの運営 ・レンタサイクル事業の実施 ※協会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。
事業成果	桜おもてなし事業を中心とする観光事業により、地域の活性化や産業振興に効果が得られた。

《土木関係について》

◎ 道路台帳・区域線測量整備事業

道路河川課

事業目的	法令に基づいて整備された道路台帳を年度ごとに補正する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
道路台帳補正業務委託	市内全域	道路台帳補正業務 ・現況平面図修正 ・道路台帳図修正 ・測定基図修正 ・調書補正 ・路線網図印刷 ・境界査定等データ更新	8,468,900円
道路台帳管理システム整備業務委託 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)	幸手市役所	道路台帳管理システム整備業務 ・システム環境構築・検証 ・データ移行 ・システム設定 ・動作確認 ・操作説明 ・運用保守	2,288,000円

◎ 道路維持事業

道路河川課

事業目的	安心、安全で円滑な通行を確保するため、高齢者や障がい者の目線で市道の維持管理を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
道路補修工事	市内全域	舗装の打換、集水柵の修繕、側溝の修繕、路盤補修、道路工作物修繕等 ・市道2-11号線道路補修工事ほか 122件 ・単価契約 4件	86,979,424円
市道1-1号線道路補修工事 (社会資本整備総合交付金充当事業)	大字平野地内ほか	工事延長 L=331.6m 表層工・路上路盤再生工 2,147.5㎡	53,878,000円

◎ 側溝清掃業務事業

道路河川課

事業目的	快適な生活基盤が形成されるよう、道路を適正に管理し道路環境を良好に保全するため、側溝清掃を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
側溝清掃業務委託	市道683号線 ほか16路線	道路側溝の清掃 清掃実施延長 1,730m	10,633,327円

◎ 橋りょう維持事業

道路河川課

事業目的	橋りょうの点検などを実施し、老朽化する橋りょうの長寿命化を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
橋りょう点検業務委託 (道路メンテナンス事業費補助金充当事業)	幸手市内	・橋梁定期点検業務委託 吉田橋ほか62橋	15,880,700円

◎ 橋りょう新設改良事業

道路河川課

事業目的	橋りょう架換事業を行い、老朽化する橋りょうの長寿命化を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
上船渡橋架換事業負担金 (社会資本整備総合交付金充当事業)	北3丁目地内ほか	埼玉県が中川改修に伴い上船渡橋の架換を実施するため、協定に基づき負担金を支出する。	11,196,460円

◎ 保水・遊水機能確保事業

道路河川課

事業目的	内水流出抑制のため、学校の校庭等を利用した雨水貯留施設や調整池等の整備や維持管理等を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
雨水流域貯留施設整備設計業務委託	大字幸手地内	中川・綾瀬川流域治水プロジェクトに基づき、学校の校庭等を利用した雨水の流出抑制のための流域貯留施設の設計業務を行う。	7,425,000円

◎ 排水対策推進事業

道路河川課

事業目的	道路冠水等の内水氾濫を抑制するため、市内各所に設置してある排水ポンプ場の点検・維持及び修繕工事を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
雨水排水ポンプ点検業務委託	緑台2丁目地内ほか	・緑台外排水ポンプ点検業務 (第1ポンプ場ほか26か所) 6,050,000円 年点検(ポンプ引上げ点検等) 1回 月点検(運転状況確認等) 6回 ・香日向排水ポンプ点検業務 (香日向排水機場) 1,265,000円 月点検・ポンプ運転操作 ・幸手駅西口調整池ポンプ場No.2 ポンプ点検業務委託 156,200円	7,471,200円
第3ポンプ場ポンプ交換工事	緑台1丁目地内	・ポンプ交換工事(φ600mm 1台)	69,300,000円

◎ 排水ポンプ場整備事業

道路河川課

事業目的	道路冠水等の内水氾濫を抑制するために、排水ポンプ場改築等の検討や整備工事を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
大堰橋周辺浸水対策 検証業務委託	幸手市内	大堰橋周辺地区の浸水対策のために、市内排水ポンプ場のポンプ増強等による対策を浸水シミュレーション等により検討する。	8,690,000円

◎ 河川整備事業

道路河川課

事業目的	河川環境の保全と景観に配慮するため、除草作業を行う。また、降雨時における流下断面の確保を図り、水の滞留を防止して本来の機能を確保するため、改修工事や維持工事を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
雑草刈払業務委託	準用河川 調整池ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草刈払業務委託（準用河川） 除草工 29,998㎡ 4,967,600円 ・雑草刈払業務委託（調整池外） 除草工 34,290㎡ 4,169,000円 ・ほか 7件 1,365,100円 	10,501,700円
大中落流域水路設計 業務委託	中5丁目地内	準用河川大中落の牛村橋左岸付近の内水対策事業として、既設水路の流下能力の向上のための排水検討、詳細設計を行う。	3,606,900円
排水路・調整池等 浚渫工事	大字幸手地内 ほか5か所	市街化区域内水路等の浚渫 幸手地内水路浚渫工事ほか5件	4,904,900円

◎ 公園整備・管理事業

都市計画課

(1) 都市公園等管理業務委託

事業目的	都市公園・緑地等が適正に維持管理されることにより、市民が快適かつ安全に利用できるように図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
公園等指定管理業務委託	幸手総合公園 神扇グラウンド 上吉羽中央公園 上吉羽西公園 上吉羽1号緑道 上吉羽2号緑道 宇和田公園	都市公園の維持管理業務（除草、樹木剪定、清掃、施設の安全点検、定期巡回等）を指定管理者に委託する。	18,874,000円
	平須賀南公園 平須賀北公園 神扇公園 千塚西公園 高須賀池公園		31,086,000円
公園等維持管理業務委託	上記以外の市内公園	指定管理以外の公園等の除草、樹木剪定、遊具点検業務等の委託	10,376,805円
事業成果	都市公園・緑地等の維持管理をしたことで、運動や遊びの場として市民に利用され、健康づくりや憩いの場の提供が図られた。		

(2) 公園等長寿命化対策事業（社会資本整備総合交付金充当事業）

事業目的	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の更新工事を行い、子どもをはじめ誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
公園施設長寿命化工事	東第2公園	・太鼓橋の撤去 ・砂場の撤去、新設 ・複合遊具の新設	8,250,000円
事業成果	都市公園の老朽化した遊具の撤去及び新設を行い、誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備が図られた。		

◎ 指定管理者光熱費高騰対策支援事業

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

都市計画課

事業目的	事業概要	事業成果
コロナ禍において光熱費高騰の影響を受けた指定管理者の負担軽減を図る。	指定管理者対象施設への支援金給付 幸手総合公園外6公園（都市公園分） 平須賀南公園外4公園	239,416円 【内訳】 135,000円 104,416円

◎ 建築確認申請等受理件数

建築指導課

事業目的	区分	市	県	検査機関	合計	事業成果
建築基準法の趣旨徹底を図る。	確認申請（建築物）	3件	-	237件	240件	法の趣旨徹底を図り、防災及び快適な住環境の向上が図れた。
	確認申請（工作物）	1件	-	-	1件	
	計画変更申請	-	-	16件	16件	
	計画通知	1件	-	-	1件	
	確認申請等合計	5件	0件	253件	258件	
	道路位置指定	-	-	-	0件	
	中高層建築物事業報告	-	2件	-	2件	
	地区計画	10件	-	-	10件	
	福祉のまちづくり条例届出	-	7件	-	7件	
	建築協定認可	-	-	-	0件	
	長期優良住宅建築等計画認定	44件	-	-	44件	
	低炭素建築物新築等計画認定	1件	-	-	1件	
	建築物エネルギー消費性能向上計画認定	6件	-	-	6件	

◎ 建築基準法に基づく完了検査申請件数

建築指導課

事業目的	件数	事業成果
建築基準法の趣旨徹底を図る。	236件 (うち232件検査機関)	法の趣旨徹底を図り、防災及び快適な住環境の向上が図れた。

◎ 開発許可申請等受理件数

建築指導課

事業目的	件数	事業成果
開発許可制度に基づき、無秩序な市街化の拡大を防止し、良質な宅地水準の確保を図る。	29条 45件 60条 133件 35条の2 39件 42条 4件 43条 4件	都市周辺部における無秩序な市街化を防止するとともに、必要な公共施設の整備が図れた。

◎ 都市計画法に基づく完了検査申請件数

建築指導課

事業目的	件数	事業成果
都市計画法の趣旨徹底を図る。	50件	良質な宅地水準の確保と公共施設の整備が図れた。

◎ 建築後退用地等買収事業

(社会資本整備総合交付金充当事業)

建築指導課

事業目的	防災及び快適な住宅地の環境づくりに寄与するため、市街化区域内の狭あい道路について、建築後退用地等の買収を行う。
事業概要	買収件数 1件 買収面積 35.14㎡ 事業費 1,058,576円
事業成果	建築後退用地等を買収することで、防災及び快適な住宅地の環境づくりに寄与することができた。

◎ 住宅リフォーム資金補助金（指定補助）

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

建築指導課

事業目的	申請件数	申請工事費 (税抜)	補助件数	総工事費 (税抜)	補助金額	事業成果
住環境の向上及び建設関連業者の振興と活性化を図る。	122件	192,059,530円	101件	159,560,527円	6,738,000円	快適な住環境の向上及び建設関連業者の振興と活性化が図れた。

◎ 木造住宅耐震診断資金補助金（指定補助）

(社会資本整備総合交付金充当事業)

建築指導課

事業目的	既存木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断を実施するための費用の一部について支援を行う。
事業概要	耐震診断件数 1件 事業費 132,000円 補助金額 50,000円
事業成果	耐震診断を実施することにより、既存木造住宅の耐震性能を確認できたため、耐震化の意識向上が図れた。

◎ 駅周辺施設整備事業

まちづくり事業課

事業目的	幸手駅東口に公衆トイレを開設し、駅利用者等の利便性向上を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
発注図書作成 業務委託	中1丁目地内	単価入替 図面作成 積算	一式 一式 一式 572,000円
駅東口公衆トイレ 建設工事 (社会資本整備総合 交付金充当事業)	中1丁目地内	本体工事 給排水工事 電気設備工事	一式 一式 一式 37,466,000円

《消防関係について》

◎ 東部消防組合運営事業

危機管理防災課

事業目的	4市2町（幸手市、加須市、久喜市、白岡市、杉戸町、宮代町）で共同で運営することにより、消防力の充実や事務の効率化等を図り、消防体制を充実強化し、住民サービスのなお一層の向上を図る。
事業概要	埼玉東部消防組合運営のための負担金を支出する。 共通経費 760,571,000円 単独経費 2,616,000円 特別負担金 48,636,000円
事業成果	消防に関する事務を共同処理することで、消防力の充実や効率的な消防業務が運営できた。

◎ 消防団運営事業

危機管理防災課

(1) 消防団員委嘱

事業目的	消防団員を委嘱して、各種の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減を図る。
事業概要	消防団員数 156人（男性150人・女性6人） 火災出動・警戒出動・新入団訓練・操法大会・放水訓練・特別点検・火災予防広報等を実施又は出場する。
事業成果	市民の安寧秩序は保持され、社会公共の福祉増進が図れた。

(2) 退職報償金

事業目的	退職消防団員の労苦に報いるため、報償金を支給する。
事業概要	5年以上勤務した消防団員に対して、その者の勤務年数及び階級に応じて支給する。 ・退職報償金該当者 9人 ・退職報償金 3,687,000円 ・幸手市特別退職報償金 423,000円
事業成果	退職団員の労苦に報いる一助とすることができた。

(3) 消防団員健康管理事業

事業目的	団員の健康保持のため健康診断を実施し、健康管理意識の向上を図る。
事業費	消防団員健康診断業務委託料 109,780円
事業成果	消防団員17人が健康診断を受診し、病気等の早期発見に努めた。

(4) 消防団運営交付金

事業目的	消防団の円滑な運営を図るため各分団等に運営交付金を支給する。								
事業概要	<table border="0"> <tr> <td>団本部</td> <td>160,000円</td> <td>×</td> <td>1本部</td> </tr> <tr> <td>各分団</td> <td>800,000円</td> <td>×</td> <td>8分団</td> </tr> </table>	団本部	160,000円	×	1本部	各分団	800,000円	×	8分団
団本部	160,000円	×	1本部						
各分団	800,000円	×	8分団						
事業成果	運営交付金の支給により、各分団等の円滑な運営が図れた。								

◎ 消防水利整備事業

危機管理防災課

事業目的	消火栓の設置及び維持管理をして、消防水利の充実強化を図る。
事業費	5,000,000円
事業成果	消火栓の更新、移設及び修繕を水道部に依頼して行い、消防水利の強化整備を図った。

◎ 利根川栗橋流域水防事務組合負担金

危機管理防災課

事業目的	洪水に際して水害を警戒し、防ぎよし、被害の軽減を図る。
負担金	2,129,500円
事業成果	水害を警戒し、防ぎよし、及びこれによる被害を軽減するため、各団体間の相互協力や水防に必要な訓練を行い、知識・技術の習得を図った。

◎ 応急物資などの確保事業

危機管理防災課

事業目的	大規模な災害が発生した場合に、被災した市民が一時的な生活をするために必要な飲料水及び食料品等の確保を図る。			
事業概要	令和4年度災害用備蓄食料、飲料水購入量			
	物 品 名	数 量	規 格 等	備 考
	缶入りミルクビスケット	4,272食	1 缶 75 g	保存期間 5年
	缶入りミニクラッカー	4,272食	1 缶 75 g	保存期間 5年
	レ ト ル ト 粥	1,600食	1 袋 200 g	保存期間 6年
	パンの缶詰 (3種)	1,950缶	1 缶 100 g	保存期間 5年
	アルファ米 (3種)	1,700食	1 袋 100 g	保存期間 5年
	フ オ ー	1,200食	1 袋 56.4 g	保存期間 5年
	安心米おこげ (3種)	900袋	1 袋 52 g	保存期間 5年
	ビ ス コ	4,320食	1 袋 15枚	保存期間 5年
飲 料 水	6,000本	500mlペットボトル	保存期間 10年	
事業成果	災害が発生した場合に、市民の生活に対する支援を行うことができるよう、食料や飲料水等の入れ替えを行うことができた。 なお、平成26年度末から、食料の備蓄は目標量（人口の概ね1日分）を達成している。			

◎ 防災意識の啓発事業

危機管理防災課

事業目的	参加者数	事業概要	事業成果
地震発生時に、住民の生命、財産を保護するため、人員やライフラインなどが制約された状況において、市職員としての行動を確認し、災害発生時の対応能力の向上を図る。	342人	緊急連絡用携帯メールによる連絡網を用いて職員の安否・参集可能状況の確認を行う。 職員は自宅において、シェイクアウト訓練及び安否確認メールの送受信訓練を実施したのち参集する。 参集後、避難場所運営班による避難場所設置訓練をさくら小学校体育館にて行い、避難者の受け入れ体制の確認を行う。	初動時参集及び情報収集を経験することにより、災害時の連絡体制の確認及び情報収集方法を意識させることができた。 また、指揮命令系統、職員の初動事項について確認することができた。

◎ Web版洪水ハザードマップ運用業務

危機管理防災課

事業目的	事業概要	事業成果
避難場所や、防災関連施設情報、浸水想定区域図や浸水継続時間をWeb上で情報提供を行い、事前の備えへの活用を図る。	Web版洪水ハザードマップ運用業務 498,300円 Web版洪水ハザードマップ運用にかかるサーバー運用及びドメインの管理業務	新しくWeb版洪水ハザードマップを運用することで、Web上で洪水ハザードマップや防災情報を収集できるようになり、より多角的に情報を提供することができた。

◎ 防災行政無線設備保守事業

危機管理防災課

事業目的	事業概要	事業成果
防災行政無線設備の保守点検を行うことにより、障害の発生を未然に防止し、正常な機能の維持を図る。	防災行政無線設備保守業務委託 12,815,000円 防災行政無線固定系、移動系及びJ-ALERT設備の保守点検	防災行政無線の設備の保守点検を行うことにより、円滑な通信の確保を図ることができた。

◎ 地域防災計画改訂事業

危機管理防災課

事業目的	事業概要	事業成果
令和元年東日本台風などの災害の教訓、避難行動のあり方を見直し、所掌事務の見直し、各種防災に関連する計画との連携やあり方を見直し、地域防災計画の全面改訂を行い、防災体制の強化を図る。	防災会議委員報酬 8人 74,800円 幸手市地域防災計画等改訂業務委託 5,170,000円 資料収集・整理、課題の抽出、改訂方針の検討、本編（素案の作成）、資料編、様式集などのとりまとめ、関係資料の見直し（災害時の職員活動マニュアル）、会議、関係機関との調整等に対する支援	大規模自然災害から市民の生命と財産を守るため、事前の予防から速やかな応急対策、復旧・復興を図るための計画を策定することができた。

◎ 自主防災組織補助金（指定補助）

危機管理防災課

事業目的	事業概要	事業成果
市民の防災意識の高揚及び自主防災活動の技術向上のため、自主防災組織の設立、活動上必要な防災資機材等の購入及び防災訓練の実施、防災士資格の取得に対して、補助金を交付する。	設立補助金 1件 30,000円 資機材の購入費 5件 366,561円 防災訓練の実施 6件 177,450円 防災士資格の取得 2件 107,800円	市民の防災意識の高揚及び地域での防災活動の充実を図ることができた。

◎ 幸手市公衆無線LAN整備事業

危機管理防災課

事業目的	事業概要	事業成果
ネットワークの利用が集中する災害発生時に、避難者及び市職員が情報取得や安否情報の発信等を行うため、公衆無線LAN環境を整備し、防災拠点の情報通信手段の強化を図る。	幸手市公衆無線LAN整備工事 17,878,190円 光回線敷設、LAN配線・機器設置取付、電波調査等	市役所（本庁舎・第二庁舎）・保健福祉総合センター（ウェルス幸手）、幸手市民文化体育館（アスカル幸手）及びすべての公民館にFree-Wi-Fiを導入し、災害時の情報通信手段を多重化することができた。 また、平時から活用することで、使用方法を周知することができた。